



Q6

理解を深めよう もう一問!

日常生活の中で、アイヌ語を語源とする言葉を使っているよ。どんな言葉があるかな？

私たちの日常生活の中にもアイヌ語から日用語として入ってきているものがあります。

たとえば…

○シシャモ

漢字で「柳葉魚」と表現されるシシャモですが、この語源はアイヌ語の「スス（柳）」、「ハム※（葉）」が合わさった「ススハム※」だそうです。



○トナカイ

アイヌ語の「トゥナカイ」が語源。英語では Reindeer と呼ばれるそうです（実は英語ではなかった…）。



○ラッコ

アイヌ語で本種を意味する「rakko」が語源です。



○昆布

アイヌ語の「konpu」が語源。元々日本では昆布のことを「広布（ひろめ）」と表現していたこともあったそうです。



○オットセイ

アイヌ語の「オンネブ」が中国語に訳され、生薬の名



前として中国から日本に伝わった時に「オットセイ」という名称が入ってきたといわれています。元々は薬の名前でしたが、その生物自体の呼称につながったそうです。

日本語からアイヌ語になったものもあります。
たとえば…

○ユ…温泉

日本語の「湯」が語源です。



○ペコ…牛

東北での牛の呼称「ペコ」が語源です。



○カニ…鉄、金属

日本語の「かね」から転訛したといわれています。



※アイヌ語はかつては口頭でのみ使われてきましたが、日本語にはない発音があるため「ム」などのように小文字で表記するなど、工夫して表記しています。読むときは軽く発音します。



私たちの生活にも大きな関わりがあるんだね。

アイヌ語は北海道、樺太、千島列島などのことばで、日本語とは別の言語です。各地域に方言もあることがわかっています。明治以降の近代化の過程によって失われていき、2009年、ユネスコによって消滅の危機にある言語と位置づけられました。